

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●野中悠太郎騎手がJRA初勝利をあげる

7月19日(日)の2回福島6日・第1レースではキャラメルサレが1着となり、同馬に騎乗した野中悠太郎騎手(美浦・根本康広厩舎)は、3月1日(日)の初騎乗以来90戦目でJRA初勝利をあげました。

●斎藤誠調教師がJRA通算200勝を達成

7月19日(日)の2回福島6日・第8レースではスカイクューティが1着となり、同馬を管理する斎藤誠調教師(美浦)は、現役103人目となるJRA通算200勝(2640戦目)を達成しました。

●武豊騎手がシャーガーCに出場

8月8日(土)に英・アスコット競馬場で開催される「ドバイデュティフリー シャーガーC」に武豊騎手(栗東・フリー)が出場することとなりました。シャーガーCは世界各国から12名のトップジョッキーが4チーム(各3名)に分かれて戦う対抗戦として実施され、3年ぶり7回目の出場となる武豊騎手は、ケリン・マカヴォイ騎手をキャプテンとする世界選抜チームの一員として参戦。ランフランコ・デットーリ騎手らのヨーロッパ選抜、ジェイミー・スペンサー騎手らのイギリス・アイルランド選抜、エマ=ジェーン・ウィルソン騎手らの女性騎手選抜と成績を競い合うことになります。

●ストークアンドレイの競走馬登録抹消

2012年函館2歳S(GⅢ)勝ち馬ストークアンドレイ(牝5歳/栗東・山内研二厩舎)は、7月22日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は27戦2勝で、今後は北海道新ひだか町のビッグレッドファームで繁殖馬となる予定です。

●セレクションセール開催

7月21日(火)、北海道新ひだか町の北海道市場で、1歳馬のセリ市「セレクションセール2015」(主催・HBA日高軽種馬農業協同組合)が開催されました。上場231頭(牡177頭/牝54頭)のうち166頭(牡131頭/牝35頭)が売却され、落札率は71.9%、売却総額は20億5858万8000円、1頭あたりの平均価格は1240万1130円。最高価格をつけたのは、ルビウス2014(父ディーブプリランテ/曾祖母は米G1馬)およびハートオブクイーン26(父キングズベスト/母は函館2歳S勝ち馬)で3024万円でした(金額はすべて税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マーキュリーC(盛岡)はユーロビートが圧勝

マーキュリーC(JpnⅢ、7月20日、盛岡、2000m)は、後方から向正面半ばで一気に先頭まで進出、その後一旦2番手に控えた6番人気の大井のユーロビート(吉原寛人騎手=金沢、駒6歳、父スズカマンボ)が、直線入口で抜け出して3番人気の一昨年の覇者ソリタリーキングを6馬身引き離し、ダートグレード競走初制覇を達成。トウショウフリークが3着に入り、逃げた単勝1.8倍で断然人気のメイショウコロomboは5着、トウシンイーグルは8着、2番人気に推されたテイエムダイパワーは9着に敗れています。

●金沢の藤田弘治騎手がスーパージョッキーズトライアルに優勝

7月7日の大井、23日の園田で計4戦のポイント制で争われたスーパージョッキーズトライアル2015は、藤田弘治騎手(金沢)が総合優勝を果たし、北海道所属騎手推薦枠の岩橋勇二騎手と並んでワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表騎手候補となりました。

●ロソヴァドリナが盛岡芝で重賞勝ち、各地の主要3歳重賞

オパールC(7月12日、盛岡、芝1700m)は、4番手から直線に入って間もなく先頭に立った大井のロソヴァドリナ(牝、父スニツェル)が2馬身半差で完勝。ハヤテスプリント(7月11日、盛岡、1000m)は、3番人気のランデックアロマ(牝、父メイショウサムソン)が4番手追走からゴール前100m標識の手前で差し切り、4馬身差の楽勝を収めています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●愛オークスは重賞初出走の英国馬カヴァートラヴが快勝

アイリッシュ・オークス(G1、芝1200m)は7月18日、カラ競馬場に9頭が出走して争われ、4番人気タイのカヴァートラヴ(牝3歳、父アザムール)が2番手から残り200mで先頭に立つと、3番人気のジャックネイラーに1馬身 $\frac{1}{4}$ の差をつけて快勝しました。これで今季4連勝、通算5戦4勝で重賞初勝利。良馬場の勝ちタイムは2分30秒38。勝利騎手P.スマレン、調教師H.パーマー(英ニューマーケット)、馬主フォモ・シンジケート。

●カリフォルニアクローム故障、今季絶望も現役続行へ

昨年のケンタッキー・ダービーなど米二冠を制し、米年度代表馬に選出されたカリフォルニアクローム(牡4歳、父ラッキーブルビット)は7月12日、X線検査で脛(すね)に挫傷が認められ、今季絶望となりましたが、来年も現役を続行することが19日に発表されました。今年のドバイ・ワールドC2着後、6月のプリンスオブウェルズS(英G1)に出走予定でしたが、レース直前に蹄部を傷め、アメリカへ帰国していました。